

平成24年度の取組み実績及び平成25年度の取組み予定 調査表

所属	四日市商工会議所
戦略該当項目	戦略4 市民・公共交通事業者・行政の連携づくり 戦略4-1-1 ◇モビリティマネジメントの推進 ③エコ通勤の推進（企業との連携）
事業名	平成24年度KIEP'S（霞ヶ浦地区環境行動推進協議会）の取組みへの協力
事業内容	平成21年度10月より、企業連携による二酸化炭素排出量削減等環境負荷削減への取組みを目的にKIEP'S（霞ヶ浦地区環境行動推進協議会）が発足しており、活動内容として、エコ活動として、シンポジウム開催や行政主催セミナーへの参加啓蒙活動、エコ通勤の奨励活動を行なっている。
平成25年度の取組み予定	（平成25年度KIEP'S活動方針について） 平成24年度事業同様、毎月、定期的に全職員対象とした、エコ運動を通知し、当所ではエコ通勤非参加者に対し、エコドライブを奨励する。又エコドライブについても、安全運転に繋がることから、新入写真研修等での啓蒙を行なう。

平成24年度の取り組み実績調査表及び平成25年度の取り組み予定表

所属	神前地区まちづくり推進委員会 自主運行バス神前高角線見直しプロジェクト
戦略該当項目	戦略4 市民・公共交通事業者・行政の連携づくり 戦略4—1—2 ◇地域の発意で公共交通を活性化する仕組みづくり
事業名	自主運行バス利用促進に向けた取り組み
事業内容	<p>平成25年1月26日(土)と3月24日(日)に神前まちづくり推進委員会定住促進対策部バスプロジェクト主催で、自主運行バス神前高角線に乗るきっかけづくりの応援企画を神前地区市民センターと共催で実施した。対象者は神前地区在住の幼児から大人までのご家族で、最寄のバス停から乗車していただき、プラネタリウム鑑賞、絵本の読み聞かせの後、フリータイムではランチ等を楽しんだ。参加者の中には始めてバスに乗るお子様も見え、路線バスに興味深々の様子であった。帰りは近鉄四日市駅から最寄のバス停まで乗車し、次回の企画を心待ちにしていたようであった。</p> <p>① 1月26日(土)・・・4組11名参加 スタッフ5名(3名乗車) ② 3月24日(日)・・・3組7名参加 スタッフ7名(6名乗車)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>H25年1月26日 往路バス車内</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>H25年3月24日 プラネタリウム講座室(絵本の読み聞かせ)</p> </div> </div> <p>その他の取り組みとして 平成24年9月3日(月)に四日市中央工業高校の全生徒に対して、バス利用促進PR及びアンケート調査を実施した。今後の課題も含め、引き続き利用促進活動を行う予定である。</p>
平成25年度の取組み予定	<p>6月8日 「路線バスと近鉄内部・八王子線に乗って伝統工芸『日永うちわづくり』を体験しよう! 対象: 小学1年生以上の親子・家族</p> <p>6月14日 「昔、懐かしい映画を観ながら、癒しのひと時を・・・～自主運行バス(路線バス)存続のためにご協力ください」 対象: 神前 千寿会</p> <p>7月20日 バスの乗り方教室(三重県バス協会事業) ※神前地区市民センター内駐車場</p> <p>8月1日 「路線バスに乗って プラネタリウムを見に行こう! ワンピース編」 対象: 幼児～大人</p> <p>平成25年度においても引き続き、バス利用促進に向けた、取り組みを行っていく予定である。</p>

平成24年度の取組み実績及び平成25年度の取組み予定 調査表

所属	四日市南警察署
戦略該当項目	戦略1 自由に移動し交流できる公共交通体系づくり 戦略1-1-2 ◇バス運行の定時性の確保 ①幹線バス路線へのPTPS(公共車両優先システム)路線延長の検討
事業名	PTPS(公共車両優先システム)の整備
事業内容	○公共交通機関(路線バス)の安全な運行と定時性を確保するため、平成16年度に市道子西八王子線の笹川団地中央から日永三交差点までの3.1キロにPTPS(公共車両優先システム)の整備している。 (PTPS機器搭載バスは48台)
平成25年度の取組み予定	今後の整備拡大について、道路環境や必要性等により検討していく。

平成24年度の取組み実績及び平成25年度の取組み予定 調査表

所属	四日市南警察署
戦略該当項目	戦略1 自由に移動し交流できる公共交通体系づくり 戦略1—1—2 ◇バス運行の定時性の確保 ②渋滞等に合わせた交通管制エリアの整備・信号制御の高度化改良の推進
事業名	交通管制エリアの整備
事業内容	<p>○交通集中等による交通渋滞発生区間等の路線を交通管制エリアに組み込み、交通流・交通量に応じ、集中制御による信号機運用を図るとともに、ドライバーに渋滞情報等を提供し、安全かつ円滑な交通流の形成に努めている。</p> <p>平成24年度末現在の四日市南警察署管内には、信号機331基で、四日市サブエリア内の信号機は、273基となっている。</p>
平成25年度の取組み予定	今後、エリア拡大等について、道路環境や必要性等により検討していく。

平成24年度の取組み実績及び平成25年度の取組み予定 調査表

所属	四日市南警察署
戦略該当項目	戦略2 円滑な交通を支える道づくり 戦略2—2—1 ◇自転車走行ルートの整備
事業名	交通事故防止対策
事業内容	○自転車走行ルートの整備 ・道路管理者(四日市市)と連携して、平成24年9月に市立四日市図書館から通称中央通りまでの南北に走る市道堀木日永線の車道部分の西側と東側部分(約350メートル)に自転車専用レーンを施し、自転車の通行部分を明示するために水色カラー舗装を実施して、自転車の安全な通行環境整備を図った。
平成25年度の取組み予定	

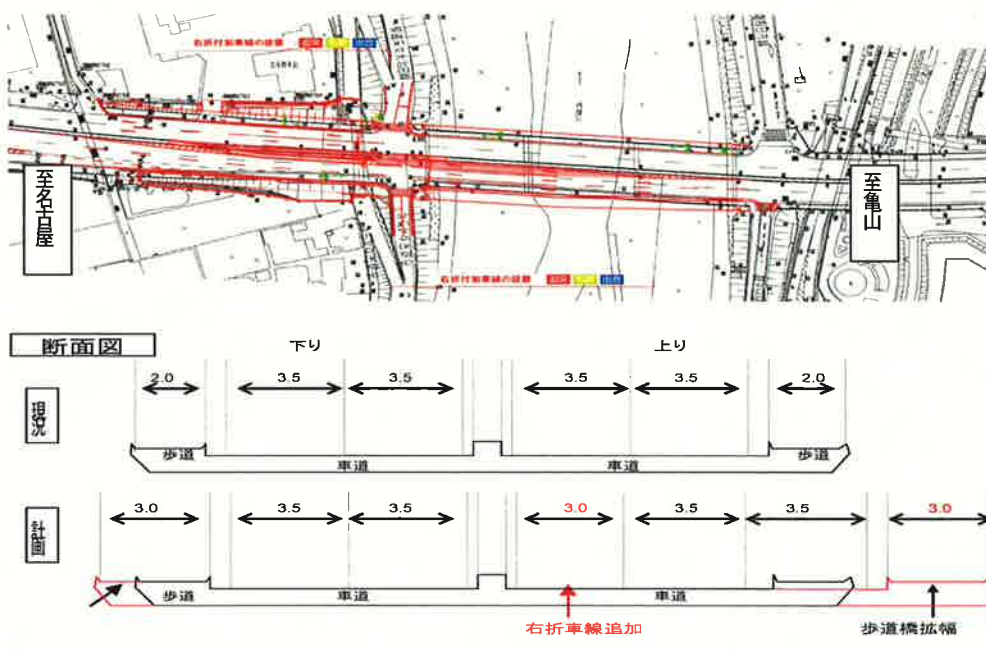
平成24年度の取組み実績及び平成25年度の取組み予定 調査表

所属	四日市南警察署
戦略該当項目	戦略4 市民・公共交通事業者・行政の連携づくり 戦略4-1-1 ◇公共交通の利用や交通安全の教育 ②自転車安全講習会と子ども自転車安全運転免許証
事業名	交通安全の教育
事業内容	<p>○子ども自転車安全運転免許証の交付</p> <p>① 自転車安全運転免許証については、平成22年11月11日から実施しており、「自転車交通安全教室」受講生に受講の証及び安全意識の喚起を目的として交付している。</p> <p>②平成24年度中、四日市市内では、四日市市交通安全教育指導員(とみまつ隊)等と連携し、自転車交通安全教室(講習会)を受講した小中学生や地域の各種行事に積極的に参加し、来所した子供等640名に対し、子どもの自転車安全利用の促進を目的として子ども自転車安全運転免許証を交付した。</p>
平成25年度の取組み予定	子ども自転車安全運転免許証にあたっては、今後も継続実施する。

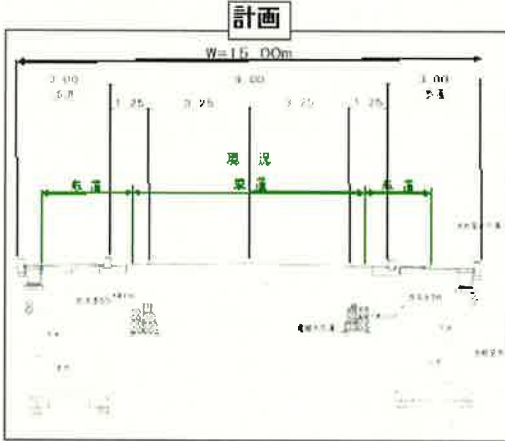

平成24年度の取組み実績及び平成25年度の取組み予定 調査表

所属	四日市南警察署
戦略該当項目	戦略4 市民・公共交通事業者・行政の連携づくり 戦略4-1-3 ◇65歳以上高齢者運転免許自主返納の促進
事業名	公共交通の利用環境整備と併せた運転免許証自主返納の促進
事業内容	三重交通株式会社及び三岐鉄道において、運転免許証を自主返納し「運転経歴証明書」の交付を受けた65歳以上の高齢者を対象としたバス運賃割引制度を実施し、更には警察においても、交通安全教室・広報啓発活動を通じて、運転免許証を自主返納制度(運転経歴証明書の交付を受けるためには運転免許証を返納する必要があることなど)を紹介し、昨年度は124名(四日市南警察署管内)の高齢運転免許所持者が運転免許証を自主返納している。
平成25年度の取組み予定	本年度も交通安全教室・広報啓発活動を通じて、運転免許証の自主返納制度を紹介すると共に自主返納を促進していく。

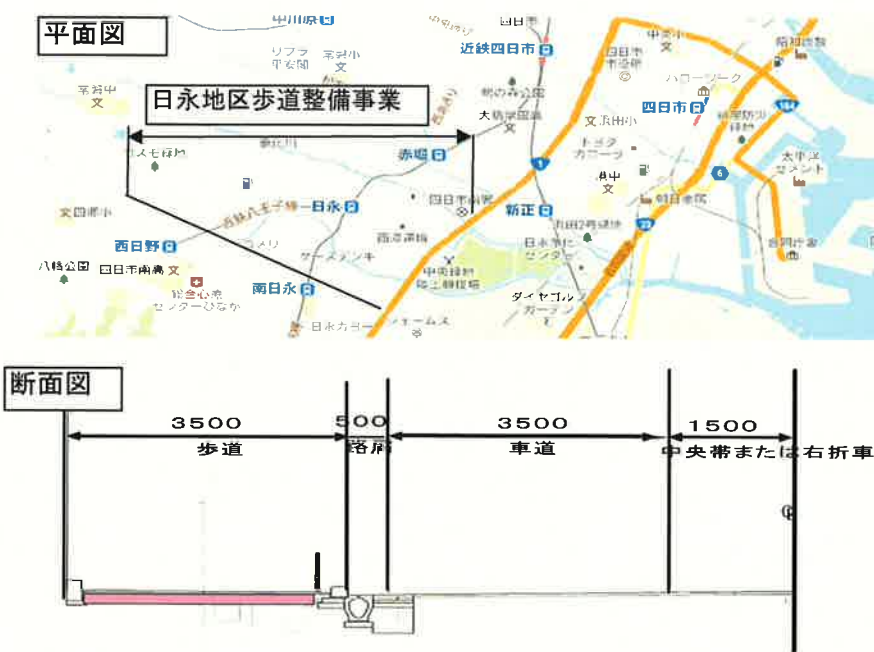
平成24年度の取組み実績及び平成25年度の取組み予定 調査表

<p>所属</p>	<p>国土交通省 三重河川国道事務所</p>
<p>戦略該当項目</p>	<p>戦略2 円滑な交通を支える道づくり 戦略2-1-2 ◇交通事故防止対策 事故ゼロプランなどに基づき交通安全対策を進める</p>
<p>事業名</p>	<p>内部橋北詰交差点改良事業</p>
<p>事業内容</p>	<p>本事業は、国道1号「内部橋北詰交差点」に右折レーンを設置することにより、事故の減少・渋滞の緩和を図るため交差点改良を行うものである。 平成24年度は、内部橋の上部工工事及び取付道路拡幅工事を実施し、供用開始した。</p>  <p>The diagrams illustrate the project details. The top diagram is a site plan showing the intersection of National Route 1 and an approach road, with labels for '至名白屋' (to Nishibayashi) and '至亀山' (to Kameyama). Below it, the '断面図' (cross-section diagram) compares the '現況' (current state) and '計画' (planned state). The current state shows a 2.0m sidewalk, 3.5m lanes, and a 2.0m sidewalk. The planned state shows a 3.0m sidewalk, 3.5m lanes, a 3.0m right-turn lane (indicated by a red arrow and '右折車線追加'), and a 3.0m sidewalk expansion (indicated by a red arrow and '歩道橋拡幅').</p>
<p>平成25年度の取組み予定</p>	<p>事業完了</p>

平成24年度の取組み実績及び平成25年度の取組み予定 調査表

所属	国土交通省 三重河川国道事務所
戦略該当項目	戦略2 円滑な交通を支える道づくり 戦略2-1-2 ◇交通事故防止対策 事故ゼロプランなどにに基づき交通安全対策を進める
事業名	富士町交差点改良事業
事業内容	<p>本事業は、一般国道1号富士町において、路肩を含めた車道幅員の拡幅や歩道整備を実施し、交通円滑化による安全確保を図るものである。 平成24年度は用地買収を実施した。</p> <p>【断面図】</p>  <p>【平面図】</p> 
平成25年度の取組み予定	平成25年度も引き続き用地買収を実施予定。

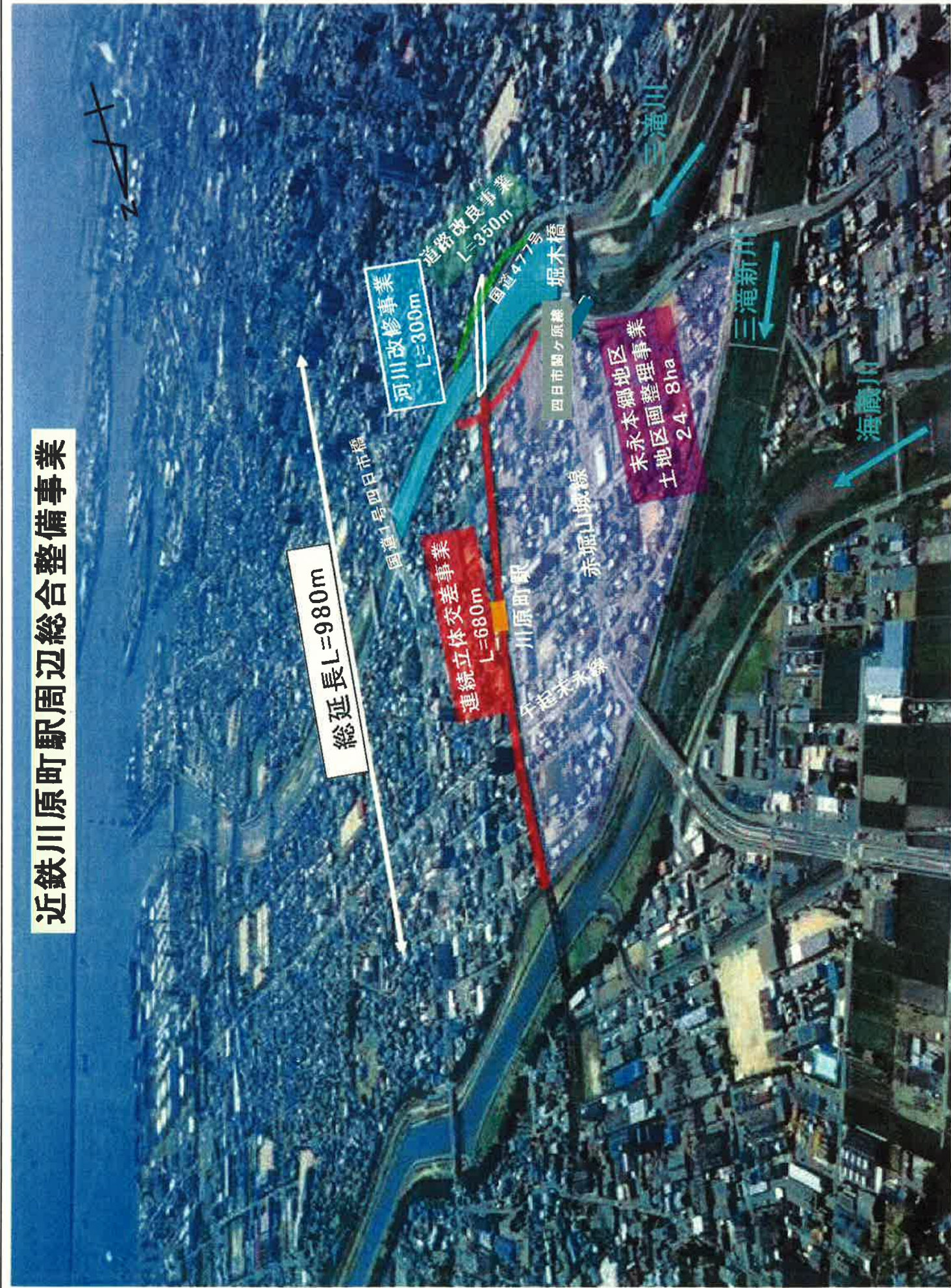
平成24年度の取組み実績及び平成25年度の取組み予定 調査表

所属	国土交通省 三重河川国道事務所
戦略該当項目	戦略2 円滑な交通を支える道づくり 戦略2-2-1 ◇歩行空間の整備
事業名	日永地区歩道整備事業
事業内容	<p>本事業は、一般国道1号日永地区において、歩道幅員を広げ、安全な歩行空間を確保するものである。 平成24年度は調査設計を実施した。</p>  <p>断面図</p> <p>3500 歩道</p> <p>500 路肩</p> <p>3500 車道</p> <p>1500 中央帯または右折車</p>
平成25年度の取組み予定	平成25年度も引き続き調査設計を実施予定。

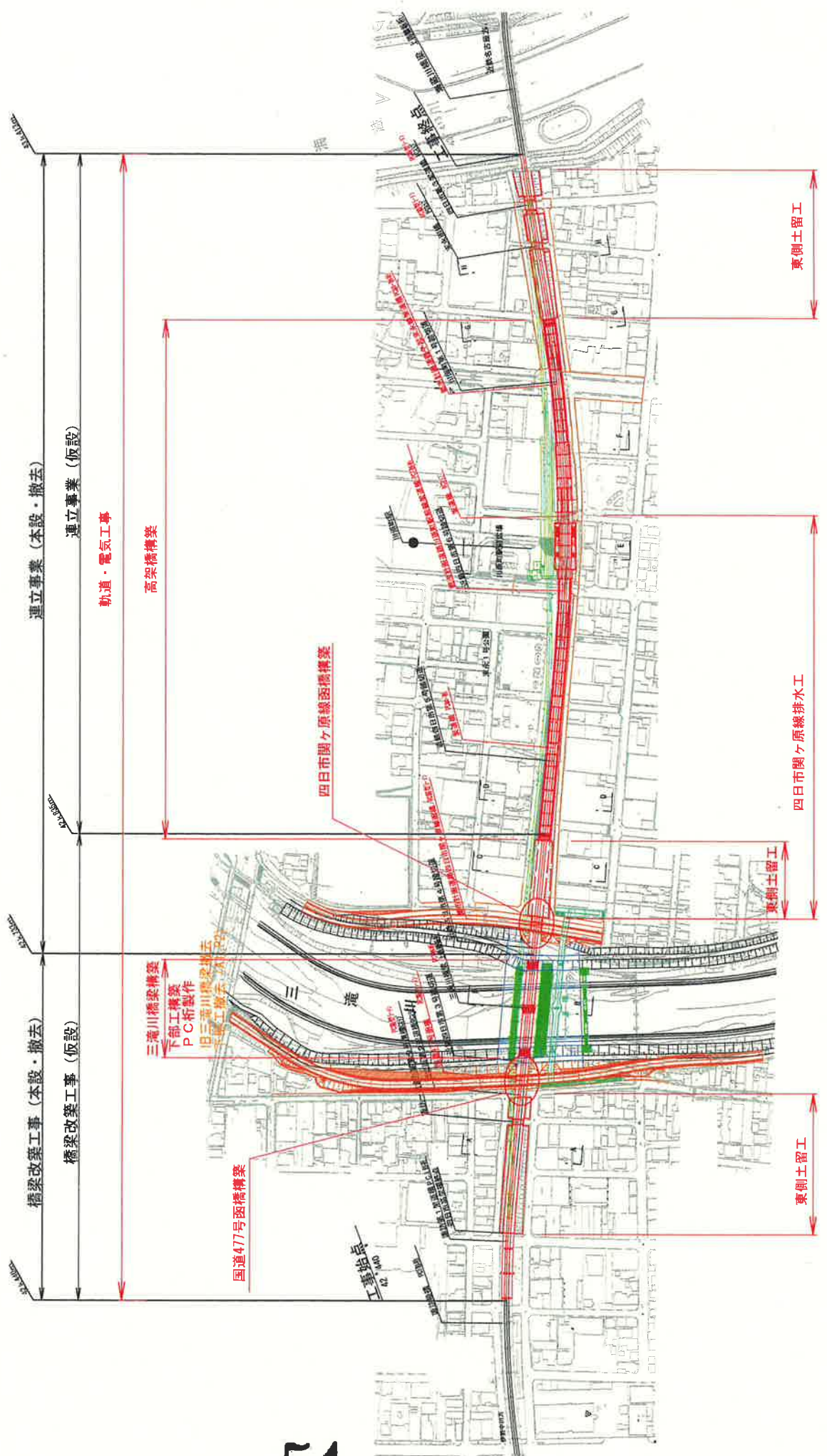
平成24年度の取組み実績及び平成25年度の取組み予定 調査表

所属	三重県四日市建設事務所
戦略該当項目	戦略1 自由に移動し交流できる公共交通体系づくり 戦略1-1-1 ◇鉄道の安全性の確保 戦略2 円滑な交通を支える道づくり 戦略2-1-2 ◇鉄道交差箇所の対策 近鉄名古屋線川原町駅周辺連続立体交差事業
事業名	近鉄川原町駅周辺総合整備事業 ①近鉄名古屋線川原町駅付近連続立体交差事業 ②三滝川河川改修事業 (広域基幹河川改修事業、鉄道橋・道路橋緊急対策事業) ③一般国道477号西浦バイパス道路改築事業
事業内容	<p>【全体事業概要】 近鉄連続立体交差化・三滝川橋梁整備 延長：約980m (連続立体交差 約680m、橋梁整備(河川改修)約300m) 一般国道477号西浦バイパス道路改築事業 延長：約350m 全体事業費：約160億円 進捗率：70.8%</p> <p>【平成24年度の事業内容】 平成24年度に、鉄道高架橋橋脚の工事を進めるとともに、四日市関ヶ原線立体交差化道路の供用を行った。三滝川鉄道橋梁及び新明治橋(歩行者・自転車用)については橋台、橋脚の工事と護岸工の一部を行った。また、一般国道477号と鉄道との交差部分については、函渠工を進め完成した。</p> <p>・四日市関ヶ原線立体交差化道路の供用(平成24年11月22日)</p> <p>別添資料参照</p>
平成25年度の取組み予定	<p>【平成25年度の事業内容】 引き続き、事業推進を図る予定。 ・鉄道高架橋上部工の工事を進めるとともに、中川方面の線路、電線の敷設を行う予定。 ・三滝川鉄道橋梁及び新明治橋(歩行者・自転車用)の上部工の架設を行うとともに、護岸工の工事を実施する予定。 ・一般国道477号と鉄道との交差部分にあたる函渠前後の道路改良工事を進め、完成供用を行う予定。</p>

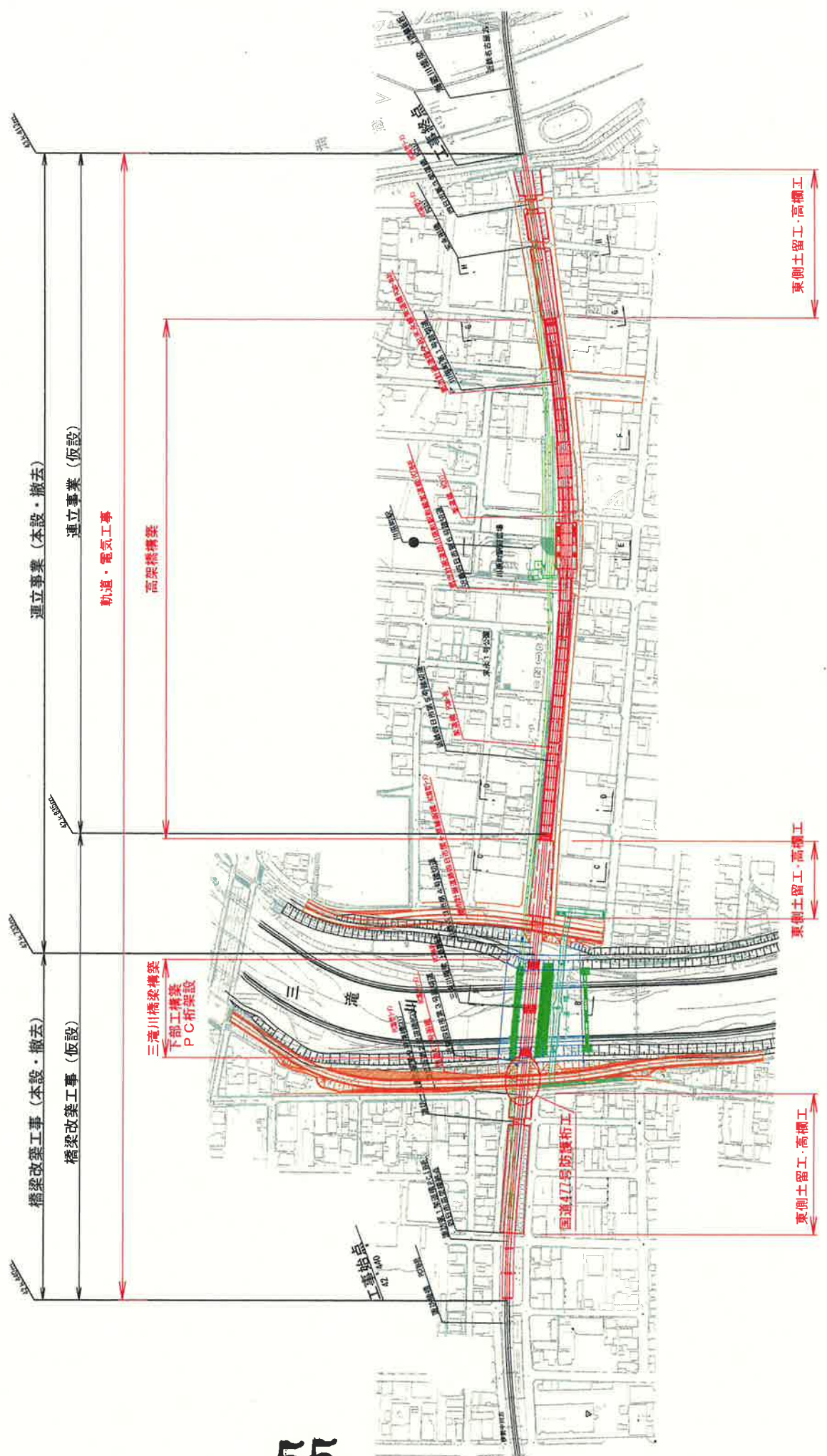
位置図等



近鉄施工
平成24年度



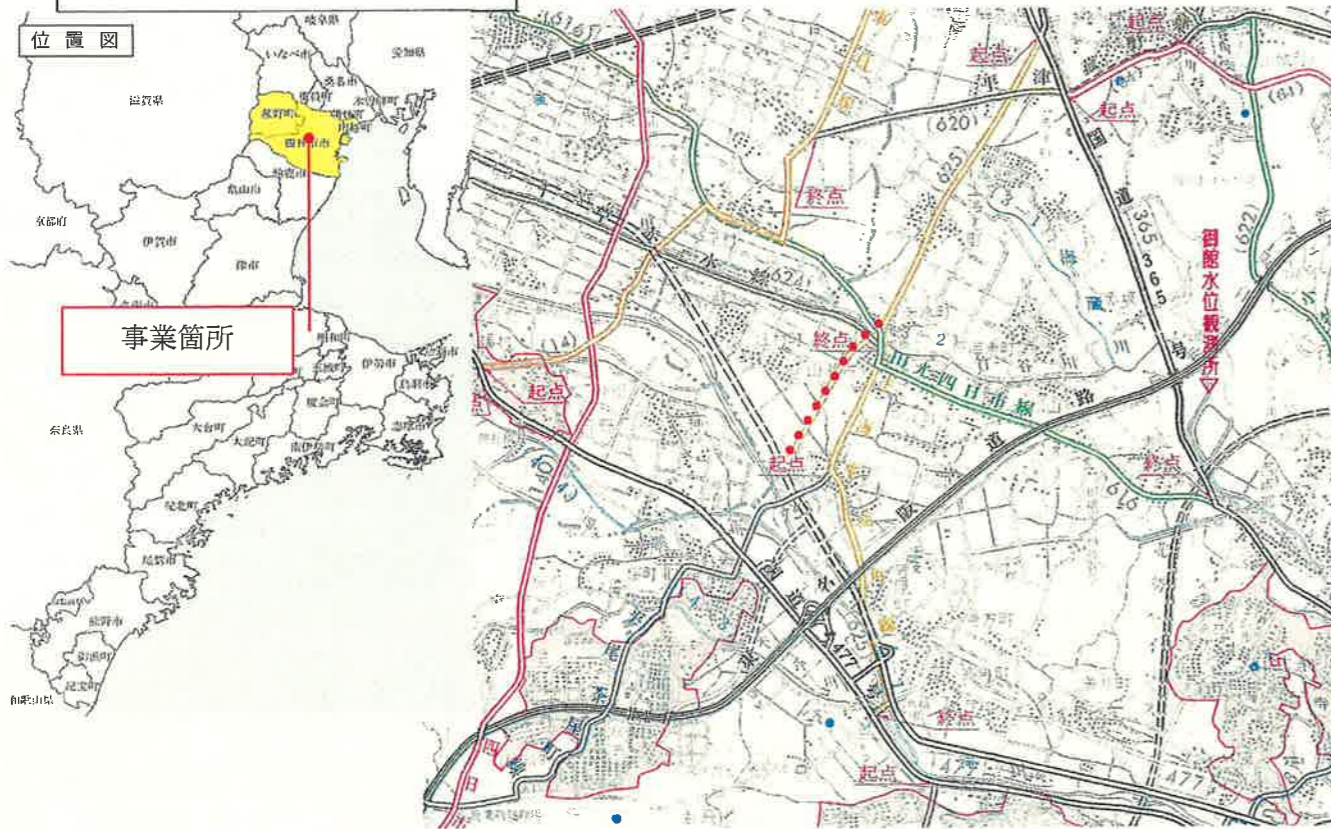
近鉄施工
平成25年度



平成24年度の取組み実績及び平成25年度の取組み予定 調査表

所属	三重県四日市建設事務所
戦略該当項目	戦略2 円滑な交通を支える道づくり 戦略2-1-1 ◇幹線道路の整備
事業名	①国道477号(四日市湯の山道路) ②国道477号(四日市バイパス) ③(県)上海老高角線バイパス ④(都)環状1号線((県)四日市鈴鹿環状線バイパス)
事業内容	①国道477号(四日市湯の山道路) 全体事業概要 延長:約9.0km 本線4車線 全体事業費:概算425億円(暫定2車線) 平成24年度の事業内容:高角IC~県道四日市菰野大安線(ミルクロード)までの間を暫定2車線にて工事推進(道路改良工及び橋梁上下部工(平尾町、江村町、菰野町吉沢)、東名阪アンダー付帯設備(非常用設備、照明等)、調査設計(ミルクロード~菰野IC)、用地買収(菰野町潤田地区) ②国道477号(四日市バイパス) 全体事業概要 延長:約3.0km 全幅員:25m 4車線(両側歩道) 全体事業費:概算12億円 平成24年度の事業内容:道路工事(高角町) ③(県)上海老高角線バイパス 全体事業概要 延長:約1.6km 幅員:10.25m 2車線(片側歩道) 全体事業費:概算9億円 平成24年度の事業内容:道路工事、橋梁工事 ④(都)環状1号線((県)四日市鈴鹿環状線バイパス) 全体事業概要 延長:約2.6km 幅員11.5m 2車線(片側歩道) (北工区 0.9km 波木南台団地~内部川橋梁~三畑四日市線) (南工区 1.7km 三畑四日市線~国道1号) 全体事業費:概算約35億円 平成24年度の事業内容:用地買収、橋梁予備設計 別添資料参照
平成25年度の取組み予定	【平成25年度の事業内容】 ①高角IC~県道四日市菰野大安線(ミルクロード)までの間を暫定2車線にて工事推進(道路改良工、橋梁上下部工、舗装工、交通安全施設工、道路付帯施設工等)、調査設計(高架橋、横断ボックス詳細設計等)、用地買収(菰野町潤田地内) ②道路工事推進(高角町) ③道路工事・橋梁工事推進 ④調査、用地買収推進

位置図

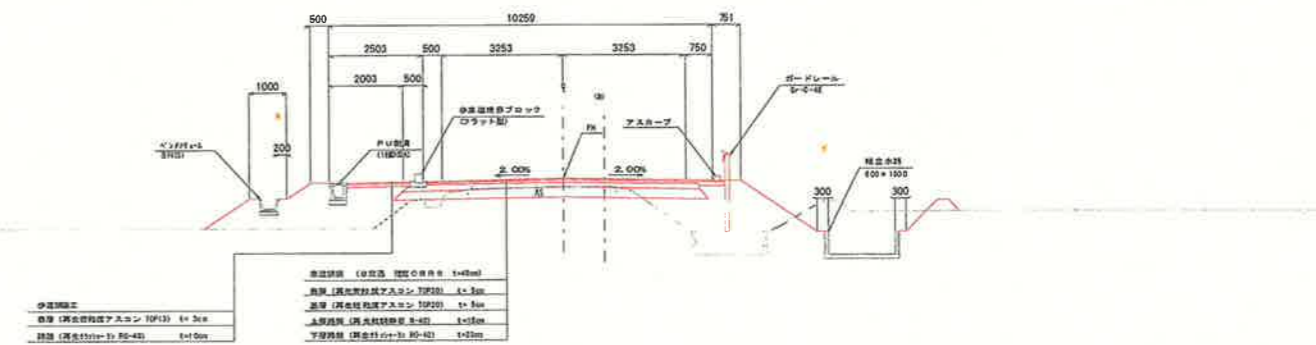


事業概要

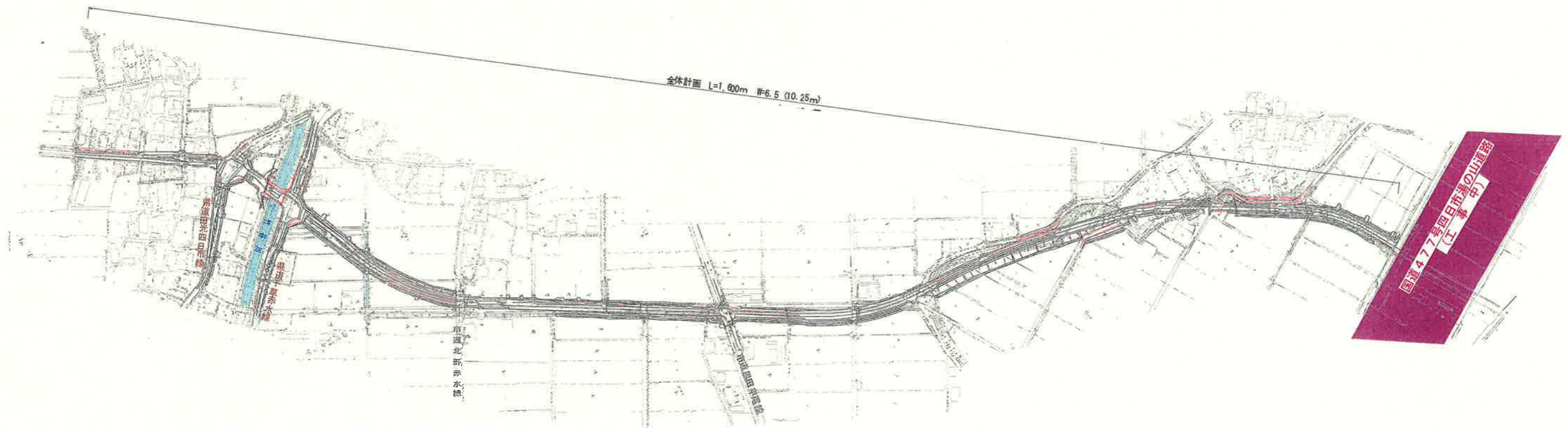
一般県道上海老高角線は四日市市上海老町の国道 365 号を起点とし、現在事業中の地域高規格道路国道 477 号バイパスと交差して四日市市高角町の国道 477 号を終点とする道路です。

当道路は国道477号バイパスとの重要なアクセスルートとして四日市地域の重要な道路ネットワークを形成する路線であるため、四日市赤水町の県道田光四日市線交差点から国道477号バイパスまでの間で片側1車線のバイパス道路を整備するものです。

標準横断面図



平面図



位置図



事業概要

主要地方道四日市鈴鹿環状線は、四日市市東富田町を起点に四日市市中心市街地西外周部を通り鈴鹿市北玉垣町を結ぶ県道で、四日市市と鈴鹿市とを結ぶ道路ネットワークの一部として重要な機能を有していますが、道路幅員が狭く歩道も無い未改良区間が存在しています。

内部（うつべ）地区で計画しているこのバイパスは、波木南台四丁目付近から内部川右岸の県道三畑四日市線までの区間を整備するもので、このことにより円滑な通行や安全性の確保、新たな道路ネットワークの形成による利便性の向上を図ります。

道路構造

事業区間：南部丘陵公園付近（四日市市波木南台4丁目）～県道三畑四日市線（四日市市采女町）

事業延長：870m

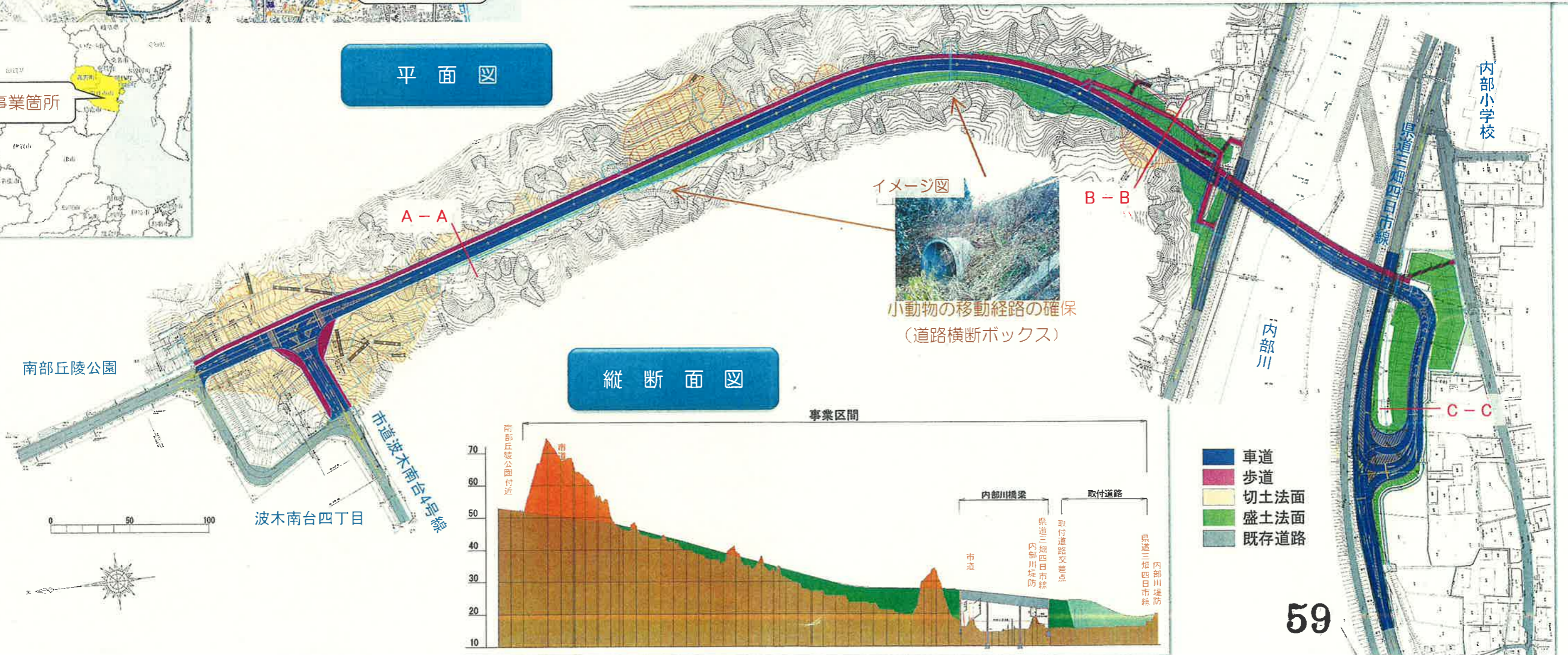
道路幅員：全幅 11.25m（車道 7.75m・片側1車線、歩道3.5m）

橋 梁：花の木橋（仮称、橋長140m、内部川渡河部）

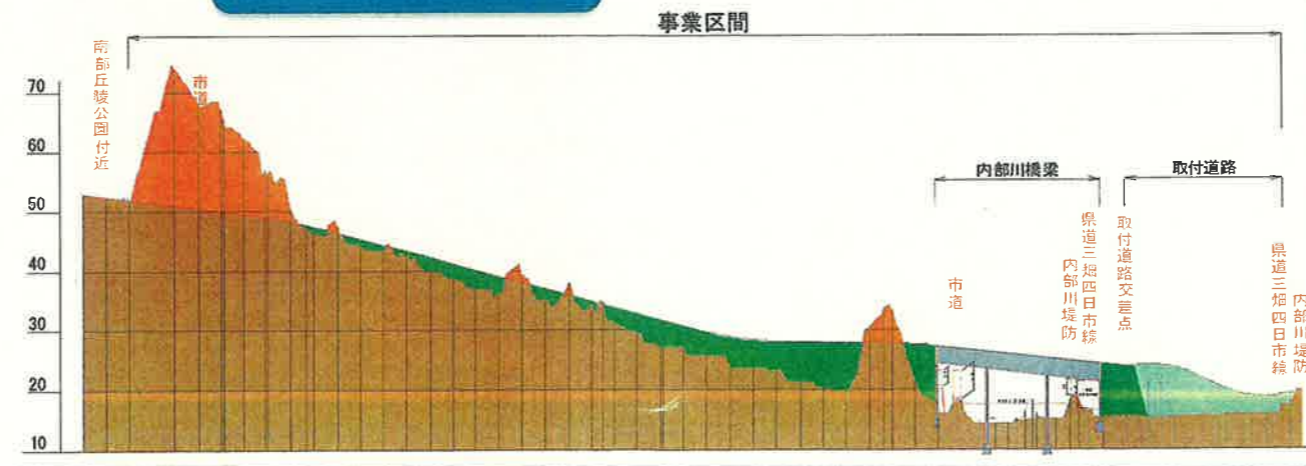
道路規格：第3種第2級 設計速度：V=40 km/h 最急縦断勾配：i=5.236%

事業期間：平成18年～ 全体事業費：9億円

平面図



縦断面図

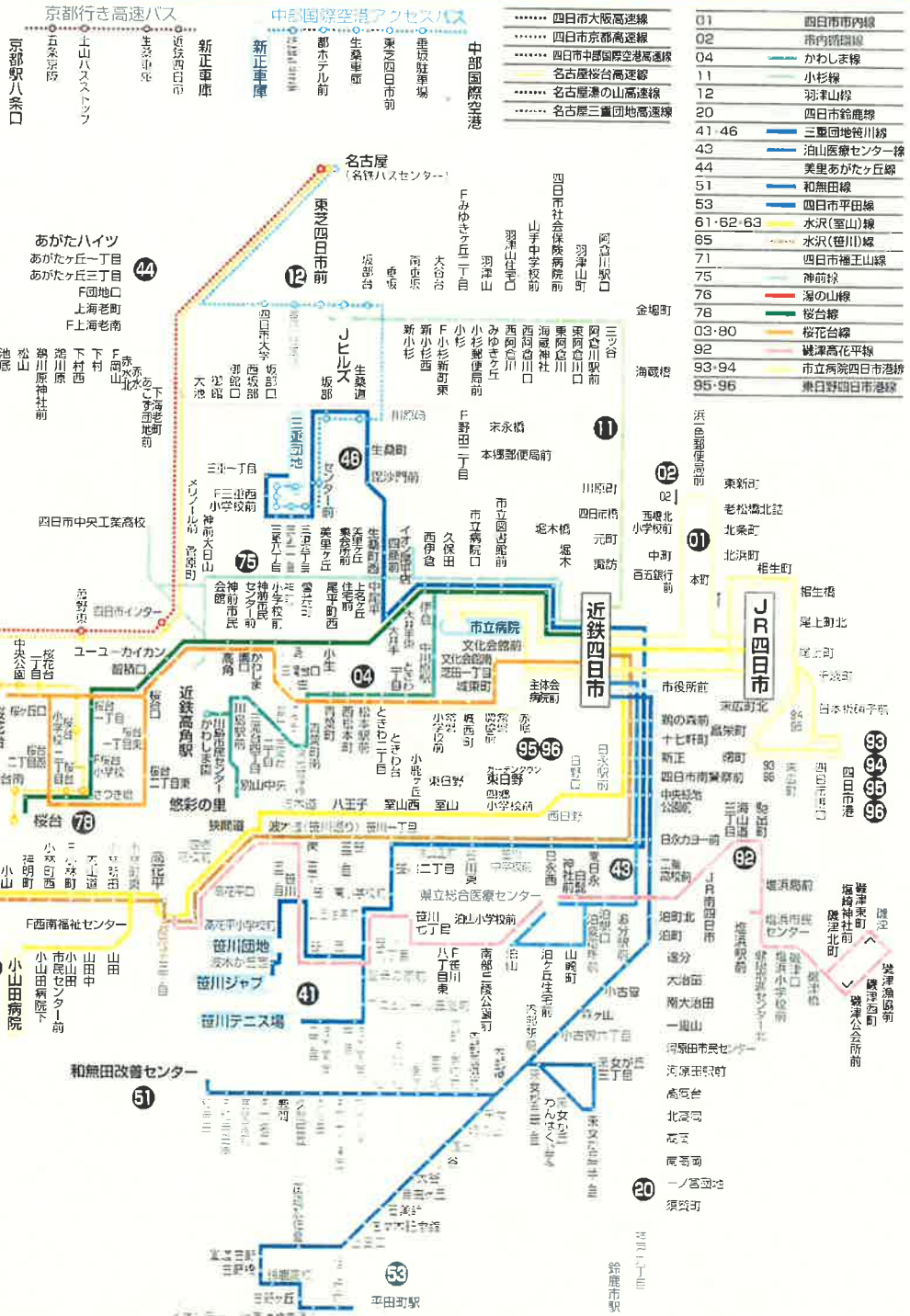


- 車道
- 歩道
- 切土法面
- 盛土法面
- 既存道路

平成24年度の取組み実績及び平成25年度の取組み予定 調査表

所属	公益社団法人 三重県バス協会
戦略該当項目	戦略1 自由に移動し交流できる公共交通体系づくり 戦略1—3—1 ◇公共交通の利用しやすい環境づくり ③公共交通マップ等の作成・配布
事業名	三重県全体のバス路線図（バス運行系統図） 携帯用地区別バス路線図（バス運行系統図）
事業内容	<p>市民や来街者が公共交通を利用しやすくなるよう、三重県全体のバス路線図及び携帯用地区別バス路線図（バス運行系統図）を作成・配布し、公共交通の利用を促す。</p>  <p>【別紙参照】</p>
平成25年度の取組み予定	平成25年度についても引き続き実施する予定。

地区内路線 模式図



JR 四日市

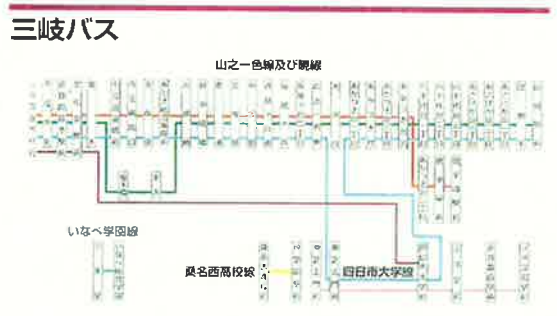
地区内主要乗り場案内

路線	行き先	乗車券
1	山形	乗車券
2	山形	乗車券



近鉄四日市

地区内主要乗り場案内


路線	行き先	乗車券
1	山形	乗車券
2	山形	乗車券



平成24年度の取組み実績及び平成25年度の取組み予定 調査表

所属	公益社団法人 三重県バス協会
戦略該当項目	戦略4 市民・公共交通事業者・行政の連携づくり 戦略4-1-1 ◇モビリティマネジメントの推進
事業名	①バスの日における鉄道駅前でのPR活動の実施
事業内容	<p>①バスの日における鉄道駅前でのPR活動の実施 平成24年9月20日の「バスの日」に近鉄四日市駅西・東口で、四日市市都市整備部都市計画課、三重運輸支局、三重交通(株)、三岐鉄道(株)、名鉄観光バス(株)の協力を得て、バス利用促進PR活動を実施した。</p>  
平成25年度の取組み予定	バスの日における鉄道駅前でのPR活動については、平成25年度も引き続き実施する予定。



平成24年度の取組み実績及び平成25年度の取組み予定 調査表

<p>所属</p>	<p>公益社団法人 三重県バス協会</p>
<p>戦略該当項目</p>	<p>戦略4 市民・公共交通事業者・行政の連携づくり 戦略4-1-1 ◇モビリティマネジメントの推進</p>
<p>事業名</p>	<p>②小学2年生児童を対象とした「バスの乗り方」のクリアファイルの作成・配布</p>
<p>事業内容</p>	<p>②小学2年生児童を対象とした「バスの乗り方」のクリアファイルの作成・配布 小学2年生で学ぶ生活科に「公共交通の乗り方」の授業があることから、教材として使っていただくため、「バスの乗り方」のクリアファイルを作成し、四日市市内の公・私立41校、2,828名の児童に配布した。</p> 
<p>平成25年度の取組み予定</p>	<p>平成25年度についても、引き続き実施する予定。</p>

平成24年度の取組み実績及び平成25年度の取組み予定 調査表

所属	公益社団法人 三重県バス協会
戦略該当項目	戦略4 市民・公共交通事業者・行政の連携づくり 戦略4—1—1 ◇モビリティマネジメントの推進
事業名	③「バスの絵コンテスト」及び「ギャラリーバス」の開催・運行
事業内容	<p>③「バスの絵コンテスト」及び「ギャラリーバス」の開催・運行 公共交通の一つであるバスに慣れ親しんでいただくため、小学生以下を対象に、◎未来のバス◎あったらいいな、こんなバス◎バスのある風景をテーマにバスの絵コンテストを実施。三重運輸支局長賞、三重県知事賞、三重県教育委員会委員長賞、(公社)三重県バス協会会長賞を始め、31点を9月22日から展示し、23日には表彰式を行った。</p> <p>また、三重県を5地区に分け、ギャラリーバスとして10台を11月4日から8週間に渡り運行した。 四日市地区では、バス3台の運行を実施した。</p> <p>(バスの絵コンテスト表彰式典)</p>  <p>(ギャラリーバス)</p> 
平成25年度の取組み予定	平成25年度についても、引き続き実施する予定。

平成24年度の取組み実績及び平成25年度の取組み予定 調査表

所属	公益社団法人 三重県バス協会
戦略該当項目	戦略4 市民・公共交通事業者・行政の連携づくり 戦略4-1-1 ◇モビリティマネジメントの推進
事業名	④「乗り方教室」の実施
事業内容	<p>④「乗り方教室」の実施 公共交通の一つであるバスに慣れ親しんでもらい、バスの良さを実感していただくため、四日市市立中部西小学校の4年生の児童48名に対して、四日市市都市整備部都市計画課、三重運輸支局、三重交通(株)の協力を得ながら、「バスの利用促進について」、「バスの乗り方教室」を開催した。</p>  
平成25年度の取組み予定	平成25年度についても、引き続き実施する予定。

平成24年度の取組み実績及び平成25年度の取組み予定 調査表

所属	社団法人三重県トラック協会
戦略該当項目	戦略3 まちなかの賑わいづくり 戦略3-1-2 ◇交通を阻害する路上駐車防止
事業名	四日市都市内物流セミナーの開催
事業内容	<p>都市内の活力を維持・活性化しつつ、暮らしやすく安全で、安心な「まちづくり」が求められています。一方で、「都市内物流」は市民の生活を支える不可欠な機能であり、両者を併せて考えることが、よりよい中心市街地の実現に寄与するものと考えており、こうした背景のもと、円滑な道路交通を確保するために、トラックの荷さばき対策も考慮した「まちづくり」実現のため、当協会並びに、国土交通省中部運輸局三重運輸支局主催、四日市商工会議所共催で、四日市都市内物流セミナー ～中心市街地の「まちづくり」と「都市内物流」を考える～ を開催した。</p> <p>日時 平成25年3月21日(木) 場所 四日市商工会議所1階 会議所ホール 目次 開会 中部運輸局三重運輸支局長 講演1 これからのまちづくりと物流 山本雄吾 氏(名城大学経済学部教授) 講演2 町田市の中心市街地における荷捌き対策 米増久樹 氏((株)町田まちづくり公社 常務取締役) パネルディスカッション コーディネーター 名城大学経済学部教授 山本雄吾 氏 パネリスト (株)町田まちづくり公社常務理事 米増久樹 氏 西濃運輸(株)四日市支店長 林 豊二 氏 四日市一番街商店振興組合 理事長 北岡泰爾 氏 諏訪栄町西部自治会 会長 林 悦男 氏 四日市商工会議所 事務局次長 高橋健次 氏 国土交通省中部運輸局交通環境部物流課長 國谷 岳 氏 閉会挨拶 社団法人三重県トラック協会 専務理事 伊藤信彦</p>
平成25年度の取組み予定	平成25年度においても、国土交通省中部運輸局三重運輸支局・四日市商工会議所及び、地元自治会と連携し、中心市街地の安全・快適で環境にやさしい、また、円滑な荷捌きのための対策を推進する。